

せら夢公園 自然観察園だより 2010年3月号

☆ 炭焼き体験を行いました（2月14日）☆

せら夢公園サポーターズクラブでは、自然観察園の里山を活かして、炭焼き体験を行いました。



ドラム缶炭焼き窯の構造とつくり方を学びました。



たき火を囲みながら待つのも楽しい時間です。



炭を持ち帰るのに、いなワラで縄をなっていました。



子どもたちはアカガエルの卵塊を見つけて遊びました。



## 完成した炭のようす

A black and white photograph showing a group of approximately ten people, mostly men in casual outdoor attire like hats and jackets, gathered around a large, dark cylindrical object. This object appears to be a rocket or a large missile, positioned vertically on a stand. The people are looking at it from various angles, some closer to the camera and others further back. The background shows a grassy field and some trees under a clear sky.

# 炭焼きで里山保全

の取り出しを体験し、草子の缶を利用した飾り作りを行った。中国地方は近世まで、製鉄の盛んな地域で、原料として木炭が周囲山里から供給されてきた。同じく古代の製鐵遺跡である「丸子町口谷遺跡」を見つかつており、里山の自然を持续的に利用した炭焼きの歴史は古い。

同クラブはこれまで、自然観察会や里山整備などを実行してきたが、松枯れ病や松など伐倒木の活用を模索していた。今回県のひこしまの森づくり事業の助成を受けた後、里山の整備設置した。今後も炭焼きなど里山体験活動を継続して行っていく予定だ。

参加者は「自分のことでも炭焼きに挑戦してみたい。今後も山を楽しもう」とウハウを教え合うつながりができるれば」と話していく。た。(広島県央)

日本農業新聞 2010年2月20日の記事